

卒業論文第二回説明会

○はじめに

卒業論文提出まで残り約1ヶ月となりました。ここに来られている皆様はもう8,9割方は完成しているかと思います。今回は提出までに気をつけることや、これからの手順を私の体験を含め説明させていただきます。

○12月

*卒業論文作成マニュアルにある形式になっているか、入念にチェックをする。

→引用の二字下げや「」を付ける等の確認。A4サイズで25頁以内にするようにする。

→参考文献は原則として著者の50音順に並べて表記する。…このことは忘れがち。

※卒業論文作成マニュアル

URL:http://shinshu-gakkai.omiya.ryukoku.ac.jp/sotsuron_manual/manual2018.pdf

*ゼミの先生に最低一度、可能であれば何度でも見せる。

→ゼミの先生は1人しかいません、ゼミの先生には早い内に見ていただく。

→先生に遠慮していてもデメリットしかありません。気兼ねなく先生に見せることをオススメします。ゼミの先生以外にも見せることも可能です。断る先生は絶対にいません。

※先生方は皆様のことを思って、指導してくれます。

合研にも院生がいますので、どんどん完成間近の卒業論文を見せに行ってください。

○1月

*提出日は1月9,10日なので最終確認をしておく。

→卒業論文作成マニュアルの形式に必ずしておく。(註、頁、引用形式等など)

※註のつけ方で手打ちじゃない方法がある。「文末脚注の挿入」を用いるべし。

また下記のサイトに詳しく書かれている。

卒業論文書く為の Word

URL: <https://www.media.ryukoku.ac.jp/kyoto/sotsuron-word.html>

※もし形式が間違っていた場合、卒業論文は受理されず、最悪の場合卒業できません。

受理されない例

- ①縦書き1行全角50字 14行…(正)縦書き1行全角50字 15行
- ②22頁…(正)最低 22.5頁以上
- ③25頁超過の際 中表紙印鑑なし…(正)25頁超過の際 中表紙印鑑付き

※受付デスクでは、提出された論文が「卒論マニュアル」どおりに作成されているかを、「正宗学科卒業論文チェックシート」に基づき点検される。
点検されて、提出出来ない場合は最悪卒業できないということは、当たり前起きること。

※出来ていない卒業論文は提出する資格が無い。

提出時間を無駄にしないで、提出する段階までに完成させておかなければならない。

*体調管理に気をつける。

→提出時期は“インフルエンザ”が流行する時期です。

“インフルエンザ”で提出出来なかったというのは理由になりません。

※どんなことがあっても提出すること。“インフルエンザ”等は対処法アリ。

※提出出来なければ結局1年間を棒に振る。

何度でも言うが、卒業できないなどは当たり前起きる。

○提出した後について

*提出しても安心は出来ません。最後に口述試問が待っています。

→その準備(詳細は次の発表者が言う)

○おわりに

皆様の必要としている情報等はあまり無かったかも知れませんが、自らの手で卒業論文の作成に励んで下さい。

また大学生活最後残り約2ヶ月です。まだ卒業論文がほとんど出来てないという方もいらっしゃるかも知れませんが、決して諦めないで下さい。先生方もそれを了承して最後までしっかりと指導や面倒をしてくださいます。最後になりましたが、友達や指導してくれた先生方と一緒に笑顔で卒業できるように頑張りましょう。

提出日

1月9日(10:00~17:00)

1月10日(10:00~17:00)

“インフルエンザ”

に注意!!

※17:00 ジャストに受付会場が閉鎖されます。時間厳守!!

期限内に提出出来なければ卒業不可!!